



上郡のマスコットキャラクター
円心くんとイトちゃん

さわやかに 歴史と未来の 出逢うまち

ごごみ だより

議会だより

No.80

平成24年(2012)
2月15日発行
上郡町議会

12月定例会号

委員には幅広い人材を
補正予算

P.2

付託審査報告
提出議案に対する表決

P.3

全員協議会報告

P.4

視察研修、研究会
委員会構成の変更
議会活動報告

P.5

安室ダム建設の経過
議会だよりを読んで

P.6

一般質問

P.7~11



上郡町消防出初式 2012年1月8日

委員には

幅広い人材を

意見書を町長に提出

「再任の回数が多すぎる」、「同一人物が兼任する委員会が多すぎる」など以前から、住民に指摘されていた。住民の参画と協働が重視されるいま、各種委員会の役割は重要である。

昨年7月8日より総務文教常任委員会は4回にわたって委員の選び方について審議を行い、1月23日に意見書をまとめた。25日全員協議会で承認、直ちに議長が町長に意見書を提出した。意見書の概略は次の通り。

地方主権改革が進み、「参画と協働」が重視される中、町政発展に向けて各種委員会・審議会が有効にまた適切に機能するよう、委員の選任については、左記事項の配慮を要

望する。

- ① 町政との利害の有無には十分検討して選任すること。
- ② 団体の代表者を多くの委員会の委員に重複して選任することは避けること。
- ③ 幅広く意見を聴取するにも女性の選任や年齢構成に配慮すること。
- ④ 委員再任の回数を制限し委員会等の形骸化を避けること。
- ⑤ 委員会によっては公募が望ましい。検討すること。
- ⑥ 委員の選任・再任・任期満了についての確な対応をすること。
- ⑦ 二元代表制の見地から、議員を委員に委嘱することは極力避けること。

12月定例会は12月6日から14日までの9日間開催された。諸報告、9名の議員による一般質問に続き同意1件、条例の一部改正2件、条例制定1件、平成23年度一般会計補正予算および特別会計補正予算5件が上程され、慎重審議の結果すべて原案通りに可決された。追加議案として議案1件、発議1件が上程されそれぞれ可決された。

11月7日に臨時会が開催され、議会各種委員会委員の選任が提案され、すべて原案通り可決された。また11月28日に臨時会が開催され、条例の一部改正1件が承認された。

倫理条例の改正

1. 地方自治法の一部改正に伴う条文の一部訂正。
 2. 災害で緊急を要する場合に、円滑な支援・復旧復興活動を可能にするための請負契約の遵守事項の一部変更。
- 慎重審議の結果、全会一致で可決すべきと決した。

同意案件

(人権擁護委員再任)

氏名 野村道子

住所 大枝65-1

工事請負契約締結の件

1. 契約の目的 石戸特設水道統合施設整備事業
石戸施設整備工事
2. 契約金額 193,200,000円
3. 契約の相手方 姫路市網干区新在家1261-12
株式会社ハマダ
代表取締役 丸尾昭宏

平成23年度予算の補正

(単位：千円)

会計名	補正前	補正額	補正後	主な補正理由	
一般会計	6,879,616	41,116	6,920,732	人事院勧告による人件費補正、福祉医療助成費、後期高齢者医療費、予防接種委託料増加見込みによる補正	
特別会計	国民健康保険事業会計(事業勘定)	1,769,753	34,675	1,804,428	療養給付費の不足による補正
	国民健康保険事業会計(直診勘定)	78,366	4,000	82,366	患者数の増に伴う医薬品購入費の不足による補正
	後期高齢者医療事業会計	212,420	142	212,562	保険基盤安定負担金増額による補正
	介護保険事業会計	1,330,765	△ 55	1,330,710	制度改正に伴う人件費の補正及び給付実績による保険給付費の補正
	農業集落排水事業会計	319,145	△ 8	319,137	職員給与費の補正
公共下水道事業会計	831,567	△ 15,390	816,177	職員給与費の補正及び管渠布設工事等の減による整備事業費の補正	

付託審査報告

総務文教常任委員会

(12月9日開催)

非常勤職員の公務災害補償の条例を一部改正

障害者自立支援法の公務災害の範囲が拡大されたことによる条文整理の改正。

当委員会は慎重審議の結果、全会一致で可決すべきと決した。

民生建設常任委員会

(12月9日開催)

上郡町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正

障害者自立支援法の公務災害の範囲が拡大されたことによる条文整理の改正。

〔質疑応答〕

問 当条例が適応される範囲は。

答 当町の消防団員が対象である。消防署職員は別に規定されている。

問 障害者自立支援法第5条に規定されている同

行援護と行動援護の違いは。

答 同行援護は、視覚障害により移動に著しい困難を有する障害者の外出時に同行し、移動に必要な情報を提供。

行動援護は、知的障害、精神障害によって行動が著しい困難な障害者に、行動する際に危険を回避するために必要な援護や外出時の介護を供与。

問 労務災害補償は、消防活動補助者も適用されるのか。

答 消防団員の他、消防活動に従事した一般人や救急業務協力者にも適用。

当委員会は慎重審議の結果、全会一致で可決すべきと決した。

大持井堰管理基金条例制定

大持井堰の維持管理を適正に行うため、新たに条例を制定する。なお、基金として積み立てられる額は、1762万1千円（県から交付を受ける管理補償費）。

〔質疑応答〕

問 基金残高が無くなった場合はどうなるのか。

答 一般会計で対応する予定。

問 維持管理の範囲は。

答 井堰本体等（ゲート設備、管理棟）と堤外水路（900m）の維持管理（光熱費、修繕費等）。

問 ペイオフに対する対応は。

答 一般会計や特別会計等の資金と同様に一括管理する。

問 大持井堰で影響を受ける農地面積、農地所有者はどのくらいか。

答 本年3月末で農地面積は16・1ヘクタール、農地所有者は207人。

問 交付を受ける補償費は、年額なのか。

答 10年間分の補償費を一括して受け入れる。

当委員会は、慎重審議の結果、全会一致で可決すべきと決した。



提出議案に対する表決

案 件 (*印は各常任委員会に付託された案件)	11月臨時会										
	村上 昇	沖 正治	小寺 政広	赤松 初夫	阿部 昭	大政 正明	橋本 正行	小原 潤一	中山 竹信	梅田 修作	井口まさのり
起立による表決											
1 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
起立による表決											
1 人権擁護委員の推薦につき同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
2 非常勤職員の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例制定の件*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 上郡町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定の件*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4 大持井堰管理基金条例制定の件*	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○
5 平成23年度上郡町一般会計補正予算の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6 平成23年度上郡町特別会計国民健康保険事業補正予算の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7 平成23年度上郡町特別会計後期高齢者医療事業補正予算の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8 平成23年度上郡町特別会計介護保険事業補正予算の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9 平成23年度上郡町特別会計農業集落排水事業補正予算の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10 平成23年度上郡町特別会計公共下水道事業補正予算の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11 工事請負契約締結の件	×	○	×	×	○	×	○	×	○	○	○
12 上郡町議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○印は賛成、×印は反対、欠は採決に参加しなかったことを示す

全員協議会報告

平成23年11月23日全員協議会を開催、各課から報告事項や本会議への提出案件の説明を受けた。

○鞍居診療所の休診

河原医師から町長に竹万で開業するため平成24年3月末退職したいとの申し出があった。診療所の今後のあり方を検討した結果、総合的に判断して左記理由により4月以降しばらく休診とする。

①老朽化した医療機器、往診車の更新が必要。

②医師が町内で開業するため、医療機関数の変化はない。

③医師は開院後訪問診療、夜間診療に努める方針。

④医師を募集し、診療所を再開しても赤字を避けることはできない。国保会計も揺るがす原因となる。

○減反助成金を自主返納

上郡町地域水田農業推進協議会は、平成18・19年度の助成要件を満たさず交付を受けた

農業者が助成金を農水省に自主返納することを確約した。

○川まつり

千種川床上浸水対策特別緊急事業が今年度ほぼ完了する予定。24年度の川まつりは、実施に向けて検討する。役場周辺での実施は、親水公園の面積の縮小などにより、難しい場合もある。今後、実施の可否も含めて、川まつり執行委員会・実行委員会で協議し、新年度予算編成までに結論を出す。

○予約型乗り合いタクシー

運行開始から10月末までの3ヶ月間の利用状況は1便平均1.1人。

○いつ始まる「ミニバス運行

事業のねらい、事業概要、運行開始時期などについて報

告があった。平成24年2月6日から運行開始。(その後2月27日に変更)

その他、地域公共交通事業補助金の概要報告があった。

○給食センターはどこに

「総務文教常任委員会では建設用地の選定について、一定の方向性が示されたが、再度全議員の意見を集約して、議会としての方向性を教育部局へ示すべきだ」と、最初に議長より発言。

続いて総務文教常任委員長から、委員会での審査経過の概要が報告され、意見集約を行った。

【意見】

・平成25年2学期実施は変更すべきでない。早急に取り組むべし。竹万大開に建設すべきた。

・公の施設を中心部に建設するのはいかがなものか。

・平成25年建設に固執せず、もっと議論を深めるべきではないか。将来に禍根を残す。

・意見交換の結果全議員が同

じ情報を基に判断すべきだ。

改めて担当課から建設用候補地の竹万大開と旧船坂小学校の比較、船坂小学校跡地利用に関する法的手続きの説明を受けた。

【質疑応答】

問 船坂小学校を使うと、建設費以外に7100万円必要

と言っが、この額は必ず必要か。

答 概算だが、その金額は必要。

問 大開には周辺に浄化センターやクリーンセンターがある。環境アセスメント調査はしたか。

答 環境アセスメント調査の目的は、建設する施設が周辺に与える影響を調査するもの。

逆に周辺から影響を受けるようであれば、給食センターで措置しなければならない。

問 船坂小学校跡地利用では補助金が出ないと聞くが、どうか。

答 校舎利用の場合補助金はない。運動場利用の場合約6400万円の補助がある。

問 法的手続き等を含んだ両者の工期は。

答 竹万の場合年内に用地が決まれば、25年9月に間に合う。旧船坂小グラウンド利用の場合、代替地確保等に時間がかかり、間に合わない。

問 町長はどちらに建設したいのか。

答 用地選定の検討委員会は、新たな土地は購入せず、余分な経費をかけないという考えで、検討してきた。是非竹万に建設したい。

【意見】

・大開には浄化センター、クリーンセンターがあり、住民の理解を得にくい。

・用地選定の町長の強い意志を感じない。

・船坂小学校跡地利用の建設は時間を要するため町民との約束が守られない。

・執行権は町長にあるが、議会が方向性を示さないことで、いたずらに供用開始を引き伸ばすことになってはいけない。

**先進地の
子育て支援を学ぶ
(全議員視察研修)**

11月17日に鳥取県湯梨浜町役場を訪問した。湯梨浜町は羽合町、泊村、東郷町が合併し誕生した町で、東郷湖畔の羽合温泉が有名である。湯(温泉)、梨、砂浜から町名が付けられたように、ユニークでアイデア豊かな事業が行われている。

人口減少の時代に注目すべき点は、この数年人口が横ばいで推移していることである。これは「子育て支援課」を設置し、幼保一体の施設の運営等、さまざまな子育て支援や定住促進の成果によると感じた。ほぼ同じ人口規模のこの町が行っている手法を学ぶため、活発な意見交換を行った。

**防災対策を学ぶ
(議員研修会)**

11月18日に香美町で、片田敏孝氏(群馬大学大学院教授)の防災についての講演があった。

釜石市では東日本大震災の大津波に対し、スーパー堤防等のハード対策は役に立たなかった。しかし長年の避難方法の指導の徹底により、学童が全員無事避難できたとのことである。

講演から私たちは3つの重要なポイントを学んだ。想定に捉われない危機意識を持つこと、どんな状況でも諦めず最善の方法を考え行動すること、周囲を巻き込み率先して避難する冷静さを持つことである。家族や身近な人と不測の事態に対する対応法を普段から話し合い、防災意識を高めることが求められているのではないだろうか。



全議員研修 香美町

新議員紹介

所属
総務文教常任委員会
広報調査特別委員会



梅田修作

所属
民生建設常任委員会
千種川河川改修特別委員会
副委員長



中山竹信

所属
民生建設常任委員会
委員会構成の変更
(平成23年11月7日現在)



小原潤一

- 民生建設常任委員会
委員 阿部 昭
議会運営委員会
委員 井口まさのり
委員 大政正明

議会活動報告 (9月~11月)

- (9月)
- 赤穂市制施行60周年記念式典
 - 上郡町議会第4回定例会
 - 総務文教常任委員会
 - 民生建設常任委員会
 - 播磨高原東中学校体育祭
 - 西播磨地域づくり懇話会
 - 上郡中学校体育大会
 - 上郡町敬老会
 - 社会福祉協議会理事会
 - 農業委員会
 - 上郡町・船坂地区合同防災訓練
 - 播磨高原東小学校運動会
 - 各小学校区民体育大会
 - 月例出納検査
 - 広報調査特別委員会
 - 西播磨市町長・市町議会議長会要望会
 - 総務文教常任委員会
 - 老人福祉計画・介護保険事業計画策定委員会
- (10月)
- 上郡幼稚園・山野里幼稚園運動会
 - 赤松幼稚園運動会
 - 平家まつり
 - 議会運営委員会
 - 上郡高等学校体育大会
 - 高田幼稚園運動会
 - 町民体育大会
 - 石川県中能登町議会(議会運営委員会)視察研修
 - 上郡町議会第5回臨時会
 - 全員協議会
 - 広報調査特別委員会
 - 全員協議会
 - 東備西播定住自立圏形成推進協議会
 - 広報調査特別委員会

- (11月)
- 兵庫県市町議会正副議長会研修会
 - 赤穂農業共済事務組合議会議定例会
 - 月例出納検査
 - 近隣市町親善剣道大会
 - 兵庫県町議会議員公務災害補償組合議会議時
 - 兵庫県町議会議長会臨時総会・評議員会議
 - 議会運営委員会
 - 県監査委員協議会研修会
 - 西播磨防災訓練
 - 商工会まつり
 - 全員協議会
 - 上郡町議会第6回臨時会
 - 上郡町戦没者追悼式
 - 西播磨高原広域事務組合監査
 - (社)相生・上郡広域シルバー人材センター30周年記念式典
 - 西播磨市町議会議長会第2回総会及び現地視察
 - 第8回上郡町地域公共交通会議
 - 第5回上郡町公共交通対策協議会
 - 県議会議本県選出国議員に対する要望会
 - 第55回町村議会議長会全国大会
 - 全議員先進地視察研修会
 - 県議会議議員研究会
 - 浪漫街道夢フェスタ
 - 千種川河川改修特別委員会
 - 農業委員会
 - 老人福祉計画・介護保険事業計画策定委員会
 - 全員協議会
 - 議会運営委員会
 - 白旗城まつり
 - 西播磨高原広域事務組合議員行政視察
 - 上郡町議会第7回臨時会
 - 議会運営委員会

安室ダム建設の経過

新聞報道があったダム建設に関する企業債の償還金やダム管理に関する負担金を2市1町が負担している件につき、担当課から経過等の説明を受けた。

ダムは昭和49、51年の台風による集中豪雨被害により抜本的な治水対策を講じる必要が生じたため、昭和57年に工事着手、平成4年に完成した。当時（昭和53年）の人口予測や企業進出等の状況から、近隣市を含めて将来的な水需要を検討した結果、利水を含めた多目的ダムの建設が必要と結論付けられた。

昭和63年に利水使用許可を得たものの企業進出の停滞や人口減少等により取水施設は建設されなかった。



安室ダム

議会だよりを読んで

横山 正



議会だよりモニターをはじめて何度目かになりました。

今回は山本町長の急な辞任と後任の町長選挙、それに伴う町議会議員選挙という大きな出来事がありました。新聞やテレビで述べられた表向きの理由よりも、私たち町民が納得がいく事実を知りたいのですが、議会だよりも無難に記述されているだけで、正直がっかりしました。また平成22年度決算、委員会や全員協議会の報告、一般質問がありますが、議会の活動には地味な部分がたくさんあるのだな...と感じる一方で、毎回やりとりの要約が書かれているだけの同じ構成であり、上郡町では今何が問題であり、解決の

ためにどんな意見が交わされているのか、といった部分が見えにくく、私にとっては興味を引きにくい記述だと感じました。テレビで活躍中の「池上彰」さんが解説したらもっとわかりやすいし、多くの方が目を通すのだから...と思います。どうでしょうか？

ご意見有難う ございます

モニターの原稿を戴くのも3回目になり、率直なご意見にいつも感謝しております。また今号では貴重な提案を頂き有難うございます。

「かみごおり議会だより」は本会議や委員会の報告ばかりでなく、テレビ中継実施に向けた取組みやトピックス記事（議会あれこれ）も掲載してきました。一方広報研究会では、講師から「住民が興味を持てるように記事を書くこと」が求められています。なかなか実現できません。華々しくは進みませんが、

今後も議会の改革を鋭意推進し、読者が興味を持てる読み易い記事として掲載することを目指します。

議員の発言を戒める

テレビ中継をご覧になった一視聴者から、議員の質問の仕方、内容、言葉遣いにつき、改善を求められました。町民の代表として恥ずかしくない言動を行うよう、今後も努力いたします。

町民に親しまれる 広報紙づくりを学ぶ

広報調査特別委員会

1月26日神戸で「議会広報研究会」があり、「議会だより」に求められるものをテーマに読みやすく、分かりやすい議会広報づくりを勉強した。深澤徹氏（広報コンサルタント）が講演のあと、県下12町議会広報紙の評価を行った。私たちの「かみごおり議会だより」も細部にわたって診断されたが、次の指摘があった。

「全般的に優れた記事が多いのに、情報量に比してスペースが決定的に狭い。また見出しが弱く、記事がべた詰めで写真も少なく、読まれにくい。もっとゆとりのある、ビジュアルな紙面にしたい。そのためには増ページを恐れるべきではない。」

当委員会は、この研修を最大限活かして、読みやすく多くの町民に親しまれる広報紙を目指す。



広報研究会



小寺政広 議員

問 公正公平な町政を目指すためには、応接録の作成、そのための職員の配置、録音機、レビカメラによる記録、そ

応接記録の作成・閲覧を

Q 町長室を可視化すべき A 複数の職員を同室させる

町長 町民と行政の距離を遠ざけるような対応は控えたい。

して、それら応接記録の閲覧、公表公開が欠かせない。
あいまいな返答、言った言っていないとの争いが、ついには町政の混乱を来す。この町を混乱させないために、町民の切実な声を町政に生かしていくためにも、町長室を可視化すべきだが。

問 現実には、町長室でどのような要望がなされ取り上げられているか、今まで記録も何もされていない。「言った言わない」ということを防ぐために応接者の会話や要望は記録にとるべきだが。

要望や意見に対しては、担当課長と相談し職員と一緒に考えていく姿勢を持ちたい。
問 やり取りの正確な記録のためには、筆記する職員を入れての記録が必要だが。

町長 できるだけ複数の職員を呼んで話をする。特に、業者や利害関係者とはそういう姿勢で臨みたい。



町長室



12月6日から8日までの3日間、9人の議員が一般質問に登壇した。主な質問の内容、町長等の答弁の要旨は次のとおり。

- 1番 小寺政広 議員
町長室を可視化すべき ……p. 7
- 2番 梅田修作 議員
住民との意思疎通が不十分だ ……p. 8
- 3番 阿部 昭 議員
町議時代の反対発言への対応は ……p. 8
- 4番 大政正明 議員
予算反対と町政継承は矛盾 ……p. 9
- 5番 赤松初夫 議員
借金の軽減策は ……p. 9
- 6番 中山竹信 議員
給食はいつから開始可能か ……p.10
- 7番 小原潤一 議員
T P P協議反対の要請を ……p.10
- 8番 橋本正行 議員
小学校の跡地はどうするのか ……p.11
- 9番 井口まさのり 議員
子育て支援策をどう考えるか ……p.11

「議会だより」のモニターを募集

「かみごおり議会だより」は定例会・臨時会・常任委員会の主な審議内容、議員の研修等の報告を通じ、議会の活動を町民の皆様にとって頂くために刊行されています。発行は年4回で、各戸に配付されています。

近年住民との協働に向けた方向性が議会広報にも求められ、議会広報紙の研究会でも住民の意見の掲載を奨励されるようになりました。議会から住民への情報発信ばかりではなく、住民が議会へ向けて意見を発信することが必要とされています。

そこで町民の方若干名に「かみごおり議会だより」のモニターになって頂き、町民の目で内容をご検討頂き、ご意見を「議会だより」に掲載することにしました。ご検討頂くのは81号から1年分(4部)です。ご協力いただける方は議会事務局(電話：52-3512)へご連絡ください。